



※日本眼科医療センターの頭文字「N」と船舶の航行に欠かせない「羅針盤」をモチーフとしており、「眼科医療のサポーターとして常に方向性を現し局地を目指す」という意味が込められています。



主力商品 眼科医療機器

- 本社所在地：宮城県仙台市
- 事業概要：眼科医療機器の販売やアフターメンテナンス
- 常時使用する従業員：46名（2024年8月期）
- 現在の売上高：47億円（2024年8月期）
- 法人番号：4370001013340
- Web：https://ganka-center.jp/

企業理念・100億宣言に向けた経営者メッセージ

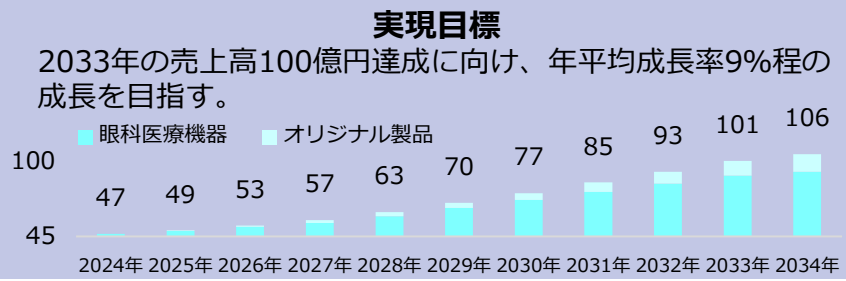


代表取締役
郡山 知之

眼科医療を支えるスペシャリストとして 医療機関に必要とされる会社であり続けます。

日本眼科医療センターは、常に「地域医療に貢献しているドクターをサポート致します」をモットーに掲げ、眼科医療機器の販売やアフターメンテナンス業務に従事している。今後は、事業拠点拡大やオリジナル製品の開発・販売を通して企業の成長スピードを加速させ、眼科医療のトータルサポーターとして健康と福祉が行き届く未来を創造する。

売上高100億円実現の目標と課題



- 課題**
- ①事業拠点の拡大
 - ②オリジナル製品の開発及び国内販売
 - ③オリジナル製品の海外販売

売上高100億円実現に向けた具体的措置

- 目指す成長手段**
- ①利便性の高さ等の合理的なデータに基づくエリア選定により東京営業所を新築する。また、その他主要都市での新規営業所開設を検討する。
 - ②先端技術の活用等を通して、社会課題の解決に繋がるオリジナル製品を開発し、国内での販売網を構築する。
 - ③オリジナル製品の海外展開により販売網を拡大する。

- 実施体制**
- ①地域の不動産会社と連携しながら新規開設エリア・物件を選定する。
 - ②最新の情報・動向を把握しながら事業部を立ち上げ、医療機関や大学等研究機関との連携を通してオリジナル製品を開発し、国内に向けた販売を進める。
 - ③マーケット規模やニーズを見定めながら、現地法人と連携してオリジナル製品の海外販売網を構築する。